中津川市の事業支援

とうしん地域振興協力基金 15万円を交付



小栗仁志市長（左から２人目）に目録を手渡した吉村卓也常務理事（同３人目）ら＝中津川市役所

公益性の高い事業を支援する東濃信用金庫（多治見市）の公益社団法人とうしん地域振興協力基金は、中津川市が小学校３校に自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を購入、設置した事業に対して15万円を交付した。

同基金は、地域活性化のための地域産業の振興や社会福祉の向上に役立ててもらおうと、１９９０年に創設。同金庫がエリアとする自治体や民間団体などを対象に毎年、助成を続けており、今回は16市町村の35団体が対象だった。

市役所で交付式があり、同金庫の吉村卓也常務理事は「地域のために役立ててほしい」と述べ、目録を渡した。市によると、今回の対象となったのは、昨年８月に川上、付知北、付知南の３小学校に設置したＡＥＤの購入費。（富樫一平）

無断複製・転載を禁じます